

具体事例

被害にあった時、起こり得ることと会社への影響

【被害者が支援センター（P6参照）で語ったことば】

- 「電車の中で痴漢の被害にあった後、満員電車に乗れなくなりました」
- 「接客業をしていましたが、暴力事件にあい人前に出るのが怖くなりました」
- 「車での営業職をしていましたが、交通事故にあったため車に乗れなくなりました」
- 「被害にあい通院のため定時の出社ができなくなりました」
- 「捜査のための事情聴取や裁判のため欠席せざるを得なくなりました」



【こんな制度があって助かりました】

● 短時間勤務

「事件前までは、息子は学童保育から帰って留守番ができていたのに、事件後は日が暮れると不安がるようになりました。私が早めに退社できるようになり助かりました。」

● 配置転換

「販売員として店舗に勤務していた時、強盗の被害にありました。それ以降、接客が怖く、会社を辞めるしかないと思っていたところ、事務職に配置転換をしてもらい、仕事を続けることができました。」

● 特別な休暇 → P5へ

「事件後、様々な手続きや警察、検察庁での事情聴取などで会社を休まなければならないことが増えました。上司から特別な休暇制度を活用することを勧められました。」